

山口大学:やまぐち地域人材育成維新プラン

～地域産業の変革を加速する、産業共創・スキリング・エコシステム～



事業テーマ概要

① 概要

- 産学官金労言の各機関が結集した「やまぐちリカレント教育プラットフォーム」を核とし、地域産業の変革を加速させるエコシステムを構築する。
- 山口県特有の課題に即した実践的教育を提供し、地域課題の解決を図る。
- 経営層から現場DX人材、医療・福祉経営まで、各層のニーズに応える広範なプログラムを「理論と実践の融合」により展開する。

② 普及啓発活動

- 経済団体等のネットワークを活用し、経営層への直接アプローチによる受講促進とリ・スキリングの重要性の浸透を図る。
- ホームページやメディアを通じてリ・スキリングの取組状況を公開し、普及・啓発を行うことで「リ・スキリングが当たり前の山口県」を目指す。

③ 達成目標

- 収益源の多角化により、自律的かつ自走可能な運営体制を確立する。同時に、デジタルバッジを活用したスキルの可視化と適正な処遇への反映を進めるとともに、大学間連携によって地域ニーズに即応した高品質な教育を継続的に提供する仕組みを構築する。

担当連絡先

- 山口大学 企画部 地域連携課 大島、前坂
Mail: sh034@yamaguchi-u.ac.jp Tel: 083-933-5630

事業テーマの特色

① 事業テーマ特徴

- 「議論」と「実行」が連動する多層的連携体制
 - 山口県内全ての高等教育機関、行政、産業界等による広範な高等教育アライアンスである「議論の場（大学リーグやまぐち）」と産学官金の各機関等が構成員となる「実行の場（やまぐちリカレント教育プラットフォーム）」が密接に連動することにより、地域の人材ニーズを踏まえたり・スキリングの実施が可能となる体制を構築。
- 多様な層への教育展開
 - 経営者のマインドセット転換から、現場のDX人材、医療・福祉経営、建設技術者まで、各層のニーズに応える広範なプログラムを「理論と実践の融合」により展開。

② アピールポイント

- 山口県の産業を牽引する高度人材の育成
 - 山口県の課題である、生産年齢人口の急減（コンビナートを担う労働力人口の減少、地域の担い手不足、中山間地域における住民の健康維持等）に対応するため、コンビナート、医療福祉、建設・地質など、山口県を支える主要産業の課題に特化したDX・SXプログラムを揃え、実務に直結する即戦力の高度人材を育成。

山口大学:やまぐち地域人材育成維新プラン

～地域産業の変革を加速する、産業共創リ・スプリング・エコシステム～



やまぐちリカレント教育プラットフォーム

URL: <https://www.yamaguchi-u.ac.jp/ext/yamaguchi-pf-ricurrent/index.html>

	産業界	大学	行政	金融機関	その他
構成	山口県経営者協会 山口経済同友会 山口県商工会議所連合会	山口大学 山口県立大学 周南公立大学 山口学芸大学	山口県 やまぐち産業振興財団 山口県産業技術センター	山口県銀行協会 山口県信用金庫協会	山口放送株式会社（言） 山口しごとセンター（労）
役割	・必要な教育内容の明示 ・経営者のリカレント教育推進 ・リカレント教育の推進・支援	・教育リソースの提供 ・教育施設や手段の供給 ・教育成果の広報・宣伝	・県の総合戦略等の情報提供 ・リカレント推進分野の情報提供	・地域企業に関する情報提供 ・県内の産業界を俯瞰的に把握 ・プログラムの自走化の提供支援	・プログラムの広報・啓発支援 ・リカレント受講者の処遇改善

プラットフォームの活動範囲と体制構築

『やまぐちリカレント教育プラットフォーム』（事務局：山口大学）の対象活動範囲は「山口県全域」としている。山口県は、本州最西端に位置し、日本海沿岸地域を中心とする観光・農業・水産業に強い地域があるのに対し、瀬戸内海沿岸には、化学・機械・金属工業など素材生産に強い競争力を持つ量産型装置産業の集積がみられる。



やまぐちリカレント教育プラットフォーム



山口大学:やまぐち地域人材育成維新プラン

～地域産業の変革を加速する、産業共創リ・スキリング・エコシステム～



プログラム概要

プログラム名	対象者層	受講者数	受講料	時間数	開講期間	実施形式	プログラム目的・内容
山口県経営者トップセミナーⅡ	県内企業の経営者、管理職等	30名	200,000円	1泊2日	11月	対面	目的：経営者のリ・スキリング教育の必要性の理解醸成、マインドセット転換 内容：特別講演、ワークショップ、グループワーク等
コンビナートDX人材育成プログラム	県内企業の高卒作業員等	15名	無料	27時間	(未定)	対面 一部オンライン	目的：コンビナート企業の中核となる作業員に対するDX教育プログラム提供 内容：講義、演習 ※実験・レポート指導
従業員の健康管理実践教育プログラム	県内企業の経営者、管理職、担当者等	基:40名 実:10名	無料	基:11時間 実:10時間	9月～11月	対面 一部オンライン 一部オンデマンド	目的：従業員の健康課題の把握、健康管理方法の企画に係る実践プログラム提供 内容：基調講演、講義、演習、フォーラム
医療福祉経営教育プログラム	県内の医療・福祉施設の管理職等	30名	無料	12.5時間	11月～12月	対面	目的：医療福祉施設の管理職等を対象に持続可能な経営を目指す示唆の提供 内容：講義及び演習
建設・地質技術者高度DX・SXプログラム	県内の建設系及び地質系の技術者	20-35名	無料	12時間 ×7プログラム	9月～12月	オンデマンド	目的：建設系、地質系及びDX・SXの基礎～高度なレベルまでのプログラム提供 内容：講義（オンデマンド）
運輸企業DXリ・スキリング支援セミナー	周南圏域を中心とした企業の経営者及び従業員	10名	100,000円	(未定)	10月～11月	対面	目的：経営者と現場の共通概念習得、現場から変革を提案・推進できる人材の育成 内容：講義及び演習
公開講座「DX基礎編」(SPARC事業連携)	県内企業、行政機関等のDX推進担当者等	20名	8,000円	10時間	7月～9月	対面	目的：山口の企業、自治体だからこそ実現できる地域発DXを構想する契機とする 内容：講義及び演習

6月採択時点の事業テーマ・プログラム案(今後予告なく変更の可能性有り)

山口大学:やまぐち地域人材育成維新プラン

～地域産業の変革を加速する、産業共創・リ・スキリング・エコシステム～

取組課題・自走化

プラットフォームで取り組む地域課題・課題への対応

課題⑧大学間連携の強化

「大学リーグやまぐち」において、地域課題や人材育成の在り方についての議論（提言）は行われているものの、実際のリ・スキリング教育の設計・実施段階では各大学が個別にリソースを投入しているケースが多い。大学間の教育資源（知見・ノウハウ）の相互提供や共同実施によるスケールメリットを最大限に活かす体制の構築を目指す。

令和8年度中の取組

大学間連携の実効性を客観的に評価するため、以下のKPIを設定する。

- ・ 共同プログラム実施数：複数の大学がカリキュラム設計や講師派遣に関与したプログラム数。
- ・ 他大学への知見提供：事務局（山口大学）から他大学に対し、リ・スキリング教育の運営ノウハウを共有した実績。
- ・ オープンバッジ発行数：実施大学の垣根を越えて共通の基準でスキルを認定した実績。

自走化に向けての概要

- ・ 到達イメージ：令和11年度以降、受講料収入と共同研究費等の多層的な収益により、補助金に依存しない自立した運営を確立する。
- ・ 取組計画：令和9年度より全プログラムを順次有償化し、受講生や派遣元企業の評価を反映したPDCAサイクルにより教育内容と価格を最適化し続ける。
- ・ 財務計画：補助終了後の令和9年度以降、適性な受講料設定による収入確保、オンデマンド教材の活用によるプログラム実施に係る支出抑制により、事業を継続する。
- ・ 人員計画：令和9～10年度の移行期にスタッフ（URA等）を育成し、自走期には大学の既存事務インフラを活用し、人員配置の最適化を図る。